

安全上の注意

※ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上正しくお使い下さい。ここに示した注意事項は製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は次のように区分しています。
■表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危険や損害の程度を次の表示で「危険」「警告」「注意」に区分し、説明しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守って下さい。

⚠ 危険 人が死亡または、重傷などを負う可能性が高いと考えられる内容です。

⚠ 警告 人が死亡または、重傷などを負う可能性が想定される内容です。

⚠ 注意 人が損傷を負う可能性及び物的損傷の発生が想定される内容です。

⊘ この記号はしてはいけない「禁止」の内容です。

! この記号は必ず守っていただく「実行」の内容です。

⚠ 警告

⊘ 改造・分解は絶対にしないで下さい。
故障や異常動作を引き起こし、けがや事故の原因となります。

⊘ 濡れた手で電源プラグを触らないで下さい。
感電の原因となります。

⊘ 人や生き物が入っているところでは使用しないで下さい。
感電の原因となります。別な容器に水を溜めるなど、生き物が入っている容器とポンプは分けて使用して下さい。

! アース接続を確実に行って下さい。アース接続口よりアース接続して下さい。
アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないで下さい。
電気工事店による第3種設置工事が必要です。アース接続が不完全な場合は、感電の原因となります。

! 定格10A以上のコンセントを単独で使用して下さい。また、延長コードを使用される場合は、必ず芯線0.75mm²以上で20m以内または、芯線1.25mm²以上で長さ40m以内にして下さい。
電源コードは途中で接続したり、タコ足配線をした場合には感電や発熱・火災の原因となります。また、他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

! 配線工事は電気設備技術基準、内線規定に従い安全確実に行って下さい。
誤った配線は、感電、火災の原因となります。

! ポンプに幼児・子供が触れないよう、隔離措置をして安全な場所で運転して下さい。

! 使用後は必ず、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
その際、コードを引っ張らず、プラグを持って抜いて下さい。感電・ショート・発火の原因となります。

! 電源プラグの刃及び周囲にほりかが付いていないかどうか定期的に確認して下さい。
ほりかの付着は火災の原因となります。

使用後の注意

1. 使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いて、ポンプを水中から引き上げて下さい。
絶縁劣化による感電や漏電の原因になります。
2. 長期間保管される時は、きれいな水の中で運転して内部洗浄を十分に行った上で内部を完全に乾燥させてから保管するようにして下さい。

保守・点検

ストレーナーやインペラにゴミが詰まると吐出量の低下やポンプ寿命に悪影響を及ぼします。

時々、下記要領でポンプの点検を行って下さい。

※注意 ポンプの点検を行う際は必ず電源プラグをコンセントより抜いてから行って下さい。



- ①ストレーナーを回して外します。
- ②ケーシング下部の+ネジを外します。
- ③インペラを手で持ってシャフトに付いている六角ナット(M6)を外します。(ナットを外すと、歯付き座金と平座金が外れます。)
- ④インペラを手前に引いて外して下さい。
注意：流動パラフィン交換用ネジは油封されています。点検修理以外は開けないで下さい。

⚠ 注意 ストレーナー、ケーシング、インペラ及びモーターのシャフト付近をきれいに水洗いして下さい。
組立の際には、各パッキンや平座金等忘れずに分解と逆の手順で行って下さい。

⚠ 注意 軸封部は流動パラフィンにより油封されています。点検修理の際には、同様に流動パラフィンの交換をおすすめします。弊社にご依頼下さい。

⚠ 注意 上記以外の分解は絶対に行わないで下さい。

故障と処置

症状	考えられる原因	処置	
ポンプが回らない	電源が入っていない	電源を入れる	
	電源が入っている	電源コードの断線もしくは接触不良	点検・修理
		電圧の低下	延長コードの確認
		異物混入によるインペラのロック シール部分の摩擦による モーター内への浸水	ストレーナー・ケーシングを取り外し清掃 弊社にて修理
ポンプが運転中に停止する	安全装置が働いている (サーマルプロテクター)	配管・ポンプを再点検し過負荷の除去	
	異物混入によるインペラのロック	ストレーナー・ケーシングを取り外し清掃	
	水温の上昇	水温を下げる	
ポンプ性能の低下	ホース内のつまり、曲がりによる損失	ホース内の洗浄、曲がりを少なくする	
	空気を吸い込んでいる	水位を上げる	
	インペラの磨耗	インペラの交換	
	ポンプ内のつまり	ポンプ内の洗浄	
	ホース径が小さい、ホースが長い	ホース径を太くし、長さを短くする	

⚠ 注意 ご自分で分解・修理は絶対にしないで下さい。
点検・修理は弊社へご依頼下さい。